

政治温度計

メキシコ州とコアウイラ州で行われる2023年の選挙は、2024年の大統領選挙で何が起こるかの前兆となるだろう。それはメキシコ州であり、この国で最も重要な連邦機関の1つであり、そうでないとしてもおそらくナンバー1を占めるものです。人口は約1,700万人で最も多く、次にメキシコシティの900万人が続きます。住民1人当たりの濃度は国内で最も高く、1平方キロメートル当たり174個となっている。また、首都と郊外に国境があり、大規模な産業が集中しています。

選挙は歴史的にPRIが統治してきたメキシコ州とコアウイラ州の両州で6月4日に行われる。このため、PRIはこれら2つの選挙に政治的将来のかなりの部分を賭けることになります。もし彼が両方の選挙で負ければ、事実上有権者から見捨てられることになるが、もし彼が勝てば、これまで無敵だったPRIにはより良い未来が訪れることになるだろう。PRI、PAN、PRDで構成されるAlianza Va por Méxicoの取り決めによれば、PRIはコアウイラ州とメキシコ州の選挙のガイドラインを設定し、PANはメキシコシティとメキシコ州の選挙のガイドラインを設定することになる。現時点では、メキシコ州のPRIにとって状況はあまり明るいととは言えません。世論調査では、MORENA候補のデルフィナ・ゴメス教授がPRI候補のアレハンドラ・デル・モラル氏に対して25%の大差を付けている。デルフィナ・ゴメスは投票意向で47.1%を獲得したが、道徳は22.4%にとどまった。

コアウイラ州はテキサス州と国境を接しており、農業活動と建設資材の生産が顕著な経済成長をもたらしているにもかかわらず、その経済は歴史的に鉱業に基づいています。コアウイラ州は、金と銀の生産国として国内第3位を占めていることに加え、重晶石、コークス、鉄、蛍石、鉄ペレットのメキシコの主要生産国です。コアウイラ州では、PRIにとってシナリオはそれほど深刻ではない。信頼できる調査によると、Va・ポル・メキシコ同盟候補のマノロ・ヒメネス氏の投票意向は41.4%に達したが、MORENA候補のアルマンド・グアディアナ氏は26.1%に達し、MORENA同盟を破った労働党(PT)のリカルド・メヒア氏はわずか16票だった。%。

結果は6月にわかり、2024年から2030年の6年間の任期で誰が国を統治するかが決まる2024年に予想される国政選挙を予測する機会となるだろう。